



さくらんぼ・莓だより



東神の倉清凉保育園

暖かな陽の光とともに、小さな虫や可愛らしい草花を見かける季節となりました。今年一年で子ども達一人ひとりのペースで心も体も成長した姿を感じることができたことを嬉しく思います。

ハイハイやよちよち歩きだったさくらんぼ組の子どもたちは、今では、一人でしっかりと歩いたり、登ったり、コンビカーに乗って走ったり等たくさん体を動かし、行動範囲も広がりました。

おしゃべり上手になった莓組のみんなは、「〇〇君いた」「〇〇ちゃん、一緒に遊ぼう」等たくさんお話ができるようになりました。お友達や保育士と言葉で簡単なやりとりをして楽しみ、会話が面白いです。

毎日、子ども達と元気に楽しく過ごせたのも、保護者の方のご理解とご協力があったからだと思います。本当にありがとうございました。残りの一ヶ月さくらんぼ・莓組で子ども達と過ごす時間を大切にしていきたいと思います。

今月のねらい

さくらんぼ組・一人ひとりの思いに寄り添い、安定して過ごせるようにする。

・保育士や友達と関わりながら好きな遊びを楽しむ。

莓組

・気温差に気を付け、個々の体調を把握しながら健康的に過ごす。

・保育士の仲立ちにより、友達と触れ合ったり関わったりすることを喜ぶ。

今月の歌

♪かわいいかくれんぼ

♪ぶんぶんぶん



今月の絵本





檸檬組だより

東神の倉清凉保育園

いよいよ今年度も残り僅かになりました。この一年を振り返り、一人ひとり自分のペースで大きくたくましく成長した姿を嬉しく感じているこの頃です。

先月は、バレンタインの制作を行いました。子ども達にバレンタインがどのようなイベントなのか話すと、キラキラした瞳でそれぞれの渡したい大好きな人のことを思い浮かべながら作っていました。誰に渡したのか聞くと、嬉しそうに「パパに渡した!」「ママに渡したんだよ」と口々に報告をしてくれました。みんなにとって楽しいイベントになったようで嬉しいです。

また、日中雪がパラパラ降っている日があり、とても興奮した様子で窓に顔をくっつけて観察をしていたので皆でテラスに出てみると、あまりの寒さにびっくりしてすぐに部屋の中に戻っていきました。雪の綺麗さと冬の厳しさを感じた子ども達でした。

あと一か月で蜜柑組です。進級に向けて蜜柑組の部屋で過ごしたり、葡萄組・蜜柑組の友達と交流をしたりできるようにし、安心して4月を迎えることができるようにしていきたいです。



《今月のねらい》

- ・異年齢児との関わりを通して、進級を楽しみにする。
- ・遊びを通して友達と関わりを持ち、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。



《今月の歌》

♪はるがきた
♪さんぽ



《今月の諺》

・残り物には
福がある

意味…人が選んで取り残った物、最後まで残っていた物には思わぬ良いことがある